

一般質問通告一覧

平成27年第3回島田市議会定例会
平成27年9月9日・10日・11日本会議

島 田 市 議 会

◎ 発言順位

(頁)

平成27年9月9日(水)

5番	森	伸	一	議員(一問一答)	-----	1	
4番	山	本	孝	夫	議員(一問一答)	-----	2
17番	藤	本	善	男	議員(一問一答)	-----	3
1番	青	山	真	虎	議員(一問一答)	-----	4
16番	八	木	伸	雄	議員(一問一答)	-----	5
12番	仲	田	裕	子	議員(一問一答)	-----	6
7番	清	水	唯	史	議員(一問一答)	-----	7

平成27年9月10日(木)

15番	福	田	正	男	議員(一問一答)	-----	8	
13番	大	石	節	雄	議員(一問一答)	-----	9	
18番	平	松	吉	祝	議員(一問一答)	-----	10	
3番	横	田	川	真	人	議員(一問一答)	-----	11
11番	佐	野	義	晴	議員(一問一答)	-----	12	
2番	杉	野	直	樹	議員(一問一答)	-----	13	
10番	桜	井	洋	子	議員(一問一答)	-----	14	

平成27年9月11日(金)

9番	曾	根	嘉	明	議員(一問一答)	-----	15	
8番	村	田	千	鶴	子	議員(一問一答)	-----	16
6番	伊	藤		孝	議員(一問一答)	-----	17	

○一般質問の質問時間のめやす

質問者	1人目	2人目	3人目	4人目	5人目	6人目	7人目
質問 時間	9:30	10:20	11:10	13:00	13:50	14:50	15:40
	~	~	~	~	~	~	~
	10:20	11:10	12:00	13:50	14:40	15:40	16:30

あくまでもめやすです。

議員により質問時間は変動しますので、あしからず御了承ください。

1. 5番 森 伸一 議員 (一問一答)

1. 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に示された今後の施策の方向性について

先月、島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)が作成された。私は地方創生戦略をつくれという政府のかけ声に全国の各自治体が踊らされているような危惧を持っている。本当に市民のためになる施策にするには今までの検証が必要である。そこで、今後の施策の方向性の中から公共交通基盤の整備及び観光施策について以下伺う。

(1) 「住民生活を支える公共交通基盤の整備」について

- ① コミュニティバスについて、路線などの見直しが検討されていると思うが、現時点でどのような内容が検討され、最終決定までの日程はどのようになっているか。
- ② 大井川鐵道の沿線住民の日常的な利用促進策とバスなどによる補完対策とは相矛盾するような面がある。公共交通基盤づくりの中でどのように整合させ方針を作成しているか。
- ③ 空港バスについて、直通でなく途中にバス停をとという要望が聞かれるが、県に対して市は今までどのような働きかけをしてきたか。

(2) 「まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ」について

- ① 来年の島田大祭開催に向け関係者は運営面の見直し、検討を進めていると思うが、市はどの程度把握しているか。
- ② 蓬莱橋の観光資源としての活用については多くの提案があるが、最大のネックは国土交通省など国の制約だ。この打開策を早急に行うべきだと思うが見通しはどうか。
- ③ 観光誘客の中で、公共交通機関を利用して市内観光をする外国人や国内の個人観光客をふやすためにどのような工夫をしているか。

2. 4番 山本孝夫 議員 (一問一答)

1. 公営住宅の現在とこれからの課題について

昭和26年に公営住宅法が施行され島田市においても整備が進められ、平成23年からは公営住宅等長寿命化計画に基づいて修繕等が行われている。一方で、報道によれば一人住まいの低所得高齢者の増加や2012年時点において困窮の子が県内で3万8,000人の推定値が示され、社会情勢が大きく変化してきている。

こうした対象となる市民の多様化、生活形態の変化並びにこれまでの合併後の公営住宅立地場所を考えると幾つかの問題点が挙げられる。現状の確認とこれからの市の取り組みについて以下伺う。

(1) 公営住宅の現在の状況について

- ① 改築するもの、長寿命化修繕するもの、取り壊すものはそれぞれどれだけあるか。
- ② 住宅の偏在があると考えているか。
- ③ 公営住宅の数、質、立地は入居希望者のニーズに応じているか。
- ④ 入居者の契約期間はあるのか。
- ⑤ 間取りはいろいろだと思うが、2DKとして平均賃借料は幾らか。また、同レベルの民間アパートの賃借料は幾らと把握しているか。
- ⑥ 所管の建築住宅課と福祉課や子育て応援課等の他部署との連携は取れているか。

(2) これからについて

- ① 新築を含め住宅戸数をふやしていくか。
- ② 入居希望者は増加すると見込むか。
- ③ 困窮母子家庭、高齢者、障がい者などのニーズに対してどのように考えるか。

(3) 上記の内容から、島田市として今後どのような取り組みをしていくか。具体的に示してほしい。

3. 17番 藤本善男 議員 (一問一答)

1. まち・ひと・しごと創生への対応について

国の人口減少社会への具体的な対応として平成26年に成立した、まち・ひと・しごと創生法に基づき、島田市でも地方人口ビジョン及び地方版総合戦略の案が示された。

今後、島田市の人口減少問題の克服と成長力の確保に向けた取り組みが本格化していくが、人口ビジョンの達成と総合戦略の確実な実行に向け、以下伺う。

(1) 人口ビジョンについて

- ① 国の想定する合計特殊出生率を上回る数値で目標人口を設定した理由を伺う。
- ② 目標人口8万人のうち、年少人口、生産年齢人口、高齢人口の比率はどのように見込んでいるか。
- ③ 地域別人口予測で示された島田市の課題は何か。

(2) 総合戦略中、地域経済の持続的な発展について

- ① 産業創出の目標として一人当たり市民所得を現在の298万2,000円から県平均を上回る数値を目指すこととしているが、島田市の市民所得が県平均より低いのはなぜか。
- ② 5年間の企業立地件数目標を11件としているが、雇用効果はどの程度を見込んでいるか。
- ③ 観光交流客数の増加による経済効果はどの程度か。
- ④ 農林業施策として就業者数や農業産出額の増加策は考えているか。
- ⑤ 地域産業の競争力を高めるため、島田市の産業の強みは把握しているか。また、既存企業への支援はどのように考えているか。

(3) 総合戦略中、人口減少の克服について

- ① 移住定住促進として、県外からの移住件数を目標値とした理由を伺う。
- ② 平成31年度の合計特殊出生率1.60を達成するためには、出生数はどの程度ふやす必要があるか。

2. 新病院建設基本計画について

市立島田市民病院は島田市の医療施設として大変重要な施設であり、新病院建設は市民の最大の関心事である。その一方で公共施設の建設費はこのところ高騰が続いており、一部の自治体では施設整備を中止する事例が生じるなど、公共事業が財政へ与える影響も無視できない。

新病院建設事業は昨年7月の基本構想から1年が経過し、このたび基本計画(案)が示されたが、その内容について以下伺う。

(1) 病院の建設規模について

- ① 本計画では病床数の見直しが行われているが、志太榛原地域全体として病床数が不足することはないか。
- ② 1床当たりの面積の目標値を80平方メートルとした根拠は何か。

(2) 病院の建設事業費について

- ① 総事業費247億円のうち、今後大きな変動の可能性がある事業はあるか。
- ② 建設工事費199億円のうち、本体工事費の額と算出根拠を伺う。

(3) 財源について

- ① 合併特例債の利用が可能となった経過を伺う。
- ② 病院事業債、合併特例債の返済計画と市の財政に与える影響はどのように考えているか。

4. 1番 青山真虎 議員 (一問一答)

1. 島田市民病院の新建設における課題について

島田市の未来を大きく左右する市民病院の建設が迫っている。この事業次第では今後の市民生活の明暗を大きく分ける。基本計画(案)で示されているものを中心に質問していく。

- (1) 建物について、この形状でよいのか。
- (2) 建設費用について、縮減を最大限努力しているか。
- (3) 周辺整備の予算は幾らで、なぜ建設費とは別なのか。
- (4) 建替え理由のひとつ「雨漏り」の原因を、想定内の範囲でよいので明確に回答を求める。
- (5) 新病院で市民のニーズに応えられないことが予測される部分について、近隣市町と広域医療の話し合いは進んでいるか。
- (6) どのようなメリットを説明して医師招致活動をしているか。
- (7) 特色ある医療施策の考えはあるか。
- (8) 病気を治すことを目的とした市民病院を目指すのか、または健康指導に重点をおいて病気になりにくい体づくりを推進していくのか、市の方向性はどちらかといえば、どちらか。
- (9) 市有施設の売却や指定管理が相次いでいるが、市民病院も独立行政法人や指定管理者に丸投げする可能性はあるか。

2. 富士山静岡空港に重篤な伝染病患者の疑いがある旅行者が降りた場合の島田市民病院の対応について

世界的に伝染病拡大の危機がある中、市の意識は広域的公益性を憂慮しているか。

- (1) 隔離病棟の必要性、公益性を問う。

3. 自衛隊が島田市役所に来庁している理由と、平和への考え方について問う

国民を守るはずの安全保障関連法案が戦争法案と呼ばれている。

この御時世である。ちょっとしたことでも感覚の鋭い市民の不安につながる可能性がある。はっきりさせておきたい。

- (1) 自衛隊の島田市役所への来庁について、防災以外の案件は何か。
- (2) 市長は演習や式典など自衛隊関連行事に来賓として招かれたことはあるか。また、この10年でもっとも多い年度はいつか。
- (3) 市長は今回の安全保障関連法案にどのような見解を持っているか。

5. 16番 八木伸雄 議員 (一問一答)

1. 市民病院の建設計画について

病院建設については基本構想から現在までさまざまな議論を行ってきた。基本構想の段階での建設地選定では恣意的とも思える内容の選定であったと考えるが、現地建設で計画を進める以上、最大限、既存施設を生かすなど現状での最良の計画を立てるべきと考え以下伺う。

- (1) 基本構想では病床数500床にこだわってきたが、基本計画(案)では445床が示された。病床数の変更について市長の見解を伺う。
- (2) 事業費では500床で250億が上限と明言してきたのにも関わらず、6月定例会で他の議員の質問に答える形で、これを超えることがあるようにも受け取られる答弁があった。真意を伺う。
- (3) 高齢者の療養病床を廃止するのは市長の意図によるものか伺う。

2. 女性の男性中心の職場への進出に伴う労働環境整備について

市では先般女性議会を開催するなど、女性の声を聞く機会を設けることに積極的な取り組みをしていくことは評価をする。市議会にも女性議員が3人在籍し、御活躍いただいていることにも敬意を表する。ただ、当局においては、かつて1人いた女性部長もこの3年間はゼロで推移し、職員数に比較した場合女性市長の元での現状は大変残念である。男女雇用機会均等法の施行以来、これまで男性中心の職場にも女性が進出し働いている光景が見られるようになったが、女性の活躍は人口減少対策、雇用の増大、経済の活性化の上で大変重要と考える。以下、島田市の女性の働くための環境整備の実態を伺う。

- (1) 市の女性の社会進出の実態はどうか。また、どのように評価しているか。
- (2) 市の職員数の男女別人数と部課長以上の人数の割合はどうか。また、部を新たに2つ増設したが、女性部長が存在しないのはなぜか。
- (3) 男性中心であった運送業、土木作業など建設関係での女性の進出が見られるようになった。女性の土木作業員、いわゆる「ドボジョ」の労働環境に対する認識と取り組みを伺う。

6. 12番 仲田裕子 議員 (一問一答)

1. 大井川鐵道、空港、島田市の観光の捉え方について

島田市にある大井川鐵道と台湾嘉義市にある阿里山森林鐵道との友好の歴史については先の一般質問においても若干触れたが、再度確認と市長の考えを以下伺う。

- (1) 先の質問に対し市長は、「大井川鐵道の沿線である島田市の首長として、鐵道の存続のために出来ること、例えば利用促進策等の側面からの支援など、大井川鐵道、沿線住民、行政が一体になって盛り上げていきたい。」と答弁した。市長はその後、今後の経営体制や方針等を新社長と協議したか。
- (2) 台湾嘉義市で行われる予定の阿里山森林鐵道と大井川鐵道との姉妹鐵道提携30周年記念と阿里山森林鐵道復旧記念式典を今年12月25日に行うとの情報があるが、島田市はどのような対応を予定しているのか。
- (3) 富士山静岡空港は台湾との直行便があり地元の大井川鐵道との絆も大きいことから、このことを観光に生かすべきと思うが市長の考えを伺う。

2. 公害等の防止に関する協定書の扱いについて

旧金谷町の時、有限会社オカムラと神谷城地域及び行政との3者において、「公害等の防止に関する協定書」が締結された。しかし締結にいたるまでの長年に渡る、過去さまざまな苦難があったことは承知と思う。その成果と地元の根気強さもあり、この度、第3回口頭弁論調書(和解)が成立した。このことは長年臭気に悩まされ不安な生活を余儀なくされた地元、また周辺地域にとって大変良い結果と思っている。

しかし、有限会社オカムラは会社自体まだ存続しており、今後不安が全くないとは言い切れないことから以下伺う。

- (1) 公害等の防止に関する協定書に基づき実践している臭気測定は今後どのように取り扱うのか。
- (2) 和解に関して地元が強く要望した建物の撤去は、有限会社オカムラの強い要望により残す事になったと聞いているが、市として残された操業していない工場建物をどのように扱うのか。
- (3) 公害等の防止に関する協定書第3条について市の考えはどうか。
- (4) 今後の公害等の防止に関する協定書の扱いはどうか。

3. 島田市総合防災訓練の中止について

市は8月30日に予定されていた総合防災訓練を中止した。その経緯と市民への周知について伺う。

7. 7番 清水唯史 議員 (一問一答)

1. 島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みについて

島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略～未来創造～(案)が示された。島田市の人口ビジョンを分析し減少傾向にある程度の歯止めをかけるとともに、それに適応するための戦略であると認識する。しかしながら、少子高齢化の状況は今までの島田市の施策においても国からその戦略の作成を義務化されなくても取り組んできたものである。

全国の全ての自治体が総合戦略を作成し、重要業績評価指標(KPI)によりその成果を見ながら地域づくりに取り組んでいくが、それは画一的な施策になる可能性がある。島田市においては地域の特性を生かした総合戦略に期待し、「しごと」「ひと」の2点の取り組みについて以下質問する。

(1) 地域経済の持続的な発展の施策について、観光に対する施策を伺う

- ① 「まちの魅力を活かして、観光で稼ぐ」としているが、現在の観光における島田市への経済効果(金額ベース)はどのくらいか。また、島田市における総生産額における割合はどれくらいか。
- ② 観光地相互の連携、観光地と商業者や農業者との連携などが必要と考えるが、その施策をどのように考えるか。
- ③ 富士山静岡空港を利用する外国人観光客の島田市への交流人口の現状をどのように把握しているか。

(2) 人口減少の克服への取り組みに対する施策を伺う

- ① 移住希望者の相談に対応するための具体的な施策はあるか。
- ② 市内への若者の定着の施策として最優先とする施策は何か。
- ③ 大学や企業との連携による市内への若者定着の取り組みはどうか。
- ④ 子育てにおける地域・社会全体で支える機運の醸成のため、各地域に求める活動はどのようなものがあるか。
- ⑤ 子どもの成長を支える連携した教育の施策をどのように考えるか。

8. 15番 福田正男 議員 (一問一答)

1. しまだ「木都」を目指して

人口減少社会を迎える中、その歯止めをかけるべく政府は地方創生の総合戦略を各自治体に求めている。これからは生き残りを賭けた各自治体の競争が始まろうとしている。

我が島田市はその昔東海道の宿場町として栄え、木都として繁栄してきた。その再生を図ることこそが生き残りの道しるべとなると考え、次の質問を行う。

- (1) 県主体の森の力再生事業の進捗状況はどうか。
- (2) 地球温暖化防止のためには二酸化炭素を吸収する森林の保全は大切だと思うが、市の今後の施策の概要を伺う。
- (3) 以前にも提案した、森林資源を活用した木質バイオマス発電を市全体で取り組む考えはないか。

2. 入札制度の改革を目指して

初倉小学校校舎耐震化工事を他市の業者が落札した。島田市の税金で行う事業は市内の業者を優先すべきだ。

何かしらの方策を考える必要があると考えるがどうか。

9. 13番 大石節雄 議員 (一問一答)

1. 大井川及び各支流の管理状況について

我が島田市には母なる川大井川が流れている。この大井川からの恩恵は市内市外関係なく広い地域で受けている。

さて、今年は異常に暑い夏であった。さらに、海水浴場ではサメの接近による遊泳禁止や大井川鐵道の機関車トーマスなどの関係で、自然豊かな清流を求めて大井川や関連支流へ多くの観光客が訪れた。そこで、各河川の一般利用者に対する管理状況について以下質問をする。

- (1) 大井川、伊久美川、家山川、笹間川の管理責任者は誰か。
- (2) 野守の池は大井川の三日月湖であるが、河川として管理されているのか。
- (3) 鵜山森林公園の利用状況はどうか。
- (4) 河川及び野守の池の担当部所はどこになるのか。
- (5) 各場所に公衆トイレがある。管理体制はどうなっているか。
- (6) 島田市域における公共河川の利用に関する指導要綱等はあるのか。
- (7) 浜松市にある、川や湖を守る条例を知っているか。

2. 横井運動公園整備計画について

今年4月から利用されている横井運動公園人工芝グラウンドは多くのスポーツ愛好家に利用され感謝されている。しかし、全ての施設整備が整っているわけではない。利用者の意見を反映する意味でも今後の取り組みについて以下質問をする。

- (1) 人工芝グラウンドの駐車場整備は考えているか。
- (2) 女性のスポーツ愛好家もふえている。更衣室、シャワー室等の施設整備は考えているか。
- (3) 公式試合などでは選手のウォーミングアップ場が必要である。整備は考えているか。

3. 光回線整備計画について

過去何人かの議員からの質問があったが、整備を行う民間の通信業者がないとのことだが、今後の情報社会において光回線は必要である。現状や今後の展望について以下伺う。

- (1) 民間業者との折衝はどのような状態か。
- (2) 今後、光回線が市内全域をカバーする時期はいつごろを予定しているか。

10. 18番 平松吉祝 議員 (一問一答)

1. 公の場での市長の発言について

6月3日、社団法人島田法人会総会の席上で「島田市は今期15億円ため5億円返済した」との市長発言があった。この発言が法人会員のみならず市民全般に物議を醸している。この発言について以下伺う。

- (1) なぜ、島田法人会の来賓挨拶でこの発言が行われたのか。
- (2) 15億円は何のためにためてあるのか。
- (3) 15億円のために縮小、削減した事業の数は幾つか。
- (4) 15億円ためる間に届いている各自治会、一般市民、企業などの陳情数は幾つか。
- (5) ためた15億円は結論を出さずそのままになっている、幻の田代の郷陸上競技場や市民会館等を整備する資金になるのか。

2. 六合地域の整備について

六合は昨今の人口減少の中で、交通の利便性の高さや環境の良さなどから人口増加している希少地域である。それに伴いインフラ整備の充実はもとより、暮らしやすい環境整備は必要不可欠である。

しかしながら、六合駅は1986年に開設されてからエレベーターは設置されたものの、ほかは現状のままで今日に至っている。1日5,000人以上の乗降客がある中で設備の老朽化や利便性の悪さなど市民は不便を感じ、改善を願っている。以下、六合地域の整備について伺う。

- (1) 六合地域、自治会からの陳情書を市はどのように捉え、回答したか。
- (2) 東町御請線を核とした周辺道路の整備及び改良はどうなっているか。
- (3) 六合駅周辺整備はどうなっているか。

11. 3番 横田川 真人 議員 (一問一答)

1. 文書管理について

市にはさまざまな文書がある。全ての書類を永久に保管しているわけではないが、後々必要になって閲覧したくてもできないということもある。そこで保管方法に関して伺う。

- (1) 文書はどのように保管されているか。
- (2) 保管期間はどの程度か。
- (3) 保管期間を過ぎたものは閲覧できないのか。

2. 保育環境の改善を

ゼロ歳から5歳までの子供を持つ親にとって、保育園というものは大変頼りになる存在である。少子化対策や働く女性を助ける面でも保育の環境整備は重要な課題である。そこで以下伺う。

- (1) 保護者が保育園に対して感じている不満にどのように対応するか。
 - ① 延長保育の追加料金について
 - ② 育休退園について
 - ③ ゼロ歳児の定員の少なさについて
- (2) 民間保育園の運営に対する市の支援は
 - ① 保育園を民営化していく中で、経営面での支援はどのようにしているか。
 - ② 保育園から市への要望はどのようなものがあるか。

12. 11番 佐野義晴 議員 (一問一答)

1. これからの「まちづくり及びまちの創生」について

全国の自治体は本格的な人口減少時代と少子高齢化を迎え、行財政運営は年を追うごとに厳しさが増している。

その打開策として「地方創生」は自治体の施策課題となっている。

我々市政に携わる者は、その課題を認識し地域特性を生かした「まち」の持続、継続を図るための施策を構築しなければならない。

それを市民に見える形にしたものが総合計画、都市計画マスタープラン等と考える。

以上を踏まえ、以下、質問する。

- (1) 総合計画を頂点に都市計画マスタープランなど施策分野別にある諸計画の整合性と計画の共通理念、目標を伺う。
- (2) 旧市内、本通五丁目交差点付近及び以東における、まちの創生施策を伺う。
- (3) まちの創生に当たって、地域連携の必要性とそのあり方及び将来的可能性を伺う。

13. 2番 杉野直樹 議員 (一問一答)

1. 窓口の市民サービス向上について

市役所にはさまざまな課がありさまざまな窓口が設置されているが、個々の窓口は専門性が高く、市民が窓口に来ても一つの窓口では手続きが完了しない場合が多々あることから、利便性を上げてほしいという声をよく耳にする。このことを踏まえ以下質問する。

- (1) 複数の窓口に係る手続きは何があるのか。
- (2) 一番多くの窓口に係る手続きは何で、どのくらいの時間を要するのか。また、職員の窓口対応にどれぐらいの人員と時間をかけているか。
- (3) 窓口手続きで市民の利便性を向上させる手法は何かあるのか。

2. 市民ボランティア、市民活動について

島田市には多くの市民団体が存在し、それぞれの団体がさまざまな活動をしている。市の事業についても団体やボランティアにお手伝いいただいている事業があるが、今後、福祉の分野でもこれまで以上にボランティアの活躍が必要になってくることが予想されることから、行政と市民ボランティアの協働について以下質問する。

- (1) 市の事業にボランティアとして参加いただいている市民団体の数及び人員は何人いるか。
- (2) 市の事業以外のボランティア市民団体の活動をどこまで把握しているか。
- (3) 市内で行われているボランティア活動をどのように知ることができるのか。

14. 10番 桜井洋子 議員 (一問一答)

1. 保育園の待機児童対策について

平成27年4月から子ども・子育て新制度がスタートした。保育の水準を後退させることなく、希望する全ての子どもたちを受け入れる保育環境が整っていることが必要だ。

以下伺う。

- (1) 現在、市内16カ所の公立・民間保育園と認定子ども園1カ所の定員と入園実数はどうなっているか。
- (2) 待機児童が出ていると聞くが、地区別、年齢別の人数はどうか。
- (3) 島田市は保育園に子どもを通わせている母親が下の子の育児休業を取得した場合、ゼロ歳～2歳児は原則退園という、いわゆる「育休退園」を実施している。退園者数はどうか。また、在園児の年齢に関係なく継続通園を求めるがどうか。
- (4) 少子化の中で子どもの数は減るが、共働き世帯は増加し入園希望者はふえている。待機児童をなくすため、認可保育園をふやし希望する全ての子に豊かな保育環境を保障する対策をとるべきだがどうか。

2. 平和行政について

戦後70年の今年、市は昨年採択した島田市平和都市宣言を生かし、平和への取り組みを進めてきた。以下伺う。

- (1) 今まさに国会で審議されている、戦争法案とも言われている安全保障関連法案は憲法9条をないがしろにし、日本を戦争する国へ変えるものであり廃案にしなければならぬと考える。憲法を暮らしに生かし、市民の命と財産を守る市長として、この法案への見解を求める。
- (2) この夏、「島田市平和のつどい」として開催された、平和祈念式典、博物館での展示及び島田空襲被爆者慰霊のつどいの取り組みの実績と評価を伺う。
- (3) 島田空襲は原爆模擬爆弾の投下訓練であり、多くの犠牲者を出した。戦争の悲惨さを語り継ぎ、核も戦争もない平和な未来を手渡していく取り組みが大事だ。広島、長崎への平和記念式典への中学生の派遣や島田市平和都市宣言のモニュメントの設置など取り組みの充実を求めるがどうか。

15. 9番 曾根嘉明 議員 (一問一答)

1. 島田市総合計画（後期基本計画）、島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び島田市行政経営行動計画について

市は社会情勢の急速な変化に対応するために、島田市総合計画（後期基本計画）の計画期間を平成26年度から平成29年度までの4年間として実施している。人口減少・少子高齢化社会を見据えた重点プロジェクトを立ち上げて各施策に取り組み、また、総合計画に対し住民アンケートを行い意識調査も実施している。一方で、人口減少の克服と地域経済の発展を図り魅力ある地域づくりを行うために島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略案が平成31年度までの5年間を目標として示された。

具体的な施策の方向性を見たときに総合計画と同じ事業が幾つかあり、どのように連動させていくのか。5年が終了した後2060年までの将来展望を実現させる施策の継続をどのように行っていくか。こうした課題が山積の中、本年度より3年間の新たな市役所づくりのために島田市行政経営戦略行動計画が策定された。

市においては総合計画が市政運営の最上位計画として定められているが、総合戦略、行政経営戦略などとの関係性と今後の取り組みについて以下伺う。

(1) 島田市総合計画（後期基本計画）について

- ① 島田市総合計画市民意識調査（住民アンケート）はどのような目的で行ったか。
- ② 島田市総合計画市民意識調査（住民アンケート）をどのように分析し、総合計画にどのように反映させていくのか。
- ③ 総合計画の3つの重点プロジェクト及び基本計画（第1章～第7章）の進捗状況はどうなっているのか。
- ④ 総合計画の3つの重点プロジェクト及び基本計画（第1章～第7章）の実施状況をどのように点検し、どのように評価していくのか。
- ⑤ 評価の結果を公表していくのか。

(2) 総合戦略について

- ① 策定後の具体的な事業計画を伺う。
- ② 総合計画との整合をどのように取っていくのか。
- ③ 総合戦略と総合計画の関係性（優先度）はどうなっているのか。

(3) 総合計画及び総合戦略の関係性について

- ① 総合計画と総合戦略は担当課が違うが、連携はうまく取れるのか。
- ② 互いの進捗状況の確認はどう取っていくのか。
- ③ 事業実施担当課への指示、指導はどうしているのか。

(4) 島田市行政経営戦略行動計画について

- ① この計画を策定しようとする目的は何か。
- ② 推進期間を3年間とした理由は何か。
- ③ 総合計画及び総合戦略との整合をどのように取っていくのか。

16. 8番 村田 千鶴子 議員 (一問一答)

1. 新市立島田市民病院建設基本計画(案)について

8月25日に開催された全員協議会にて当該案が示され、現在パブリックコメント中である。私は6月定例会でこの中間報告に対し、療養病床は整備しない方針については地域の受け皿を確保した代替案を併記した上で計画を明確にするべきであると主張をした。

今回示された案には、今後市として在宅医療の強化と地域包括ケアシステムの整備に努め、療養病床の補完を図る。さらに、患者の受け入れに関しては療養病床を持つ圏域内の医療機関等と協力関係を結ぶと書かれてあり、一定の評価をする。新病院開院までに整備できるように努めるとあるがどのような手立てを考えて臨むのか。以下について当局の所見を伺う。

- (1) 在宅医療の強化とは具体的にどのようにするのか。
- (2) 地域包括ケアシステムの整備について
 - ① 市の取り組み状況はどうか。
 - ② 整備における課題は何か。
 - ③ 地域が中心となる介護支援体制についての方針はどうか。
- (3) 圏域内の医療機関等と具体的にどうしていくのか。

2. 健康増進に向けたスポーツ施設の環境整備について

島田市は、市民一人1スポーツを目標に掲げ、健康や体力づくりを目的にしたスポーツも含めて生涯スポーツを推進している。大井川河川敷を散歩やジョギングで利用する人も増加しているが、利用者より便益施設への改善の声が聞かれる。

一例として、今年の3月22日に横井運動公園に人工芝サッカー場が完成し課題であった利用制限がなくなって、一年を通じて利用できるようになりサッカー関係者からは喜びの声を聞く半面、特に女子利用者から簡易トイレの改善の声を聞いている。

そこで、市民が健康増進、スポーツ振興のために利用している河川敷内にある便益施設について当局の所見を伺う。

- (1) 横井運動公園人工芝サッカー場がオープンしてからの利用者数及び昨年度との比較について伺う。
- (2) 河川敷内のスポーツ施設利用者から苦情や要望等はないか。
- (3) 大井川河川敷内での簡易トイレの設置条件は何か。

17. 6番 伊藤 孝 議員 (一問一答)

1. 「子供の遊ぶ場所」について

今の子供は、家でゲームばかりしていて外で遊ばないと言われるが、「遊ばない」のではなく「遊べない」のではないのか。私が子供の頃も近所には公園はなかったが、稲作が終わった田んぼは遊び場で工場用地などの空地もたくさんあった。工場の駐車場も遊び場だった。当然学校は出入り自由で自由に遊べた。

しかし、今はどうであろう。田んぼは1年中耕作されていて空地も無くなっている。交通の結節点を島田市の利点としているが、子供達にとっては交通量が多くデメリットではないのではないのか。子供達が自由に遊べる場所が島田市には少なすぎると感じる。

遊ぶ場所がなくて「遊ばない」のは、「遊べない」のだ。遊ぶ場所を用意するのは大人の責任だと思い以下を質問する。

(1) 各年代の遊ぶ場所の量(数・面積)の観点から伺う。

- ① 島田市の状況はどうか。
- ② 近隣市町と比べてどうか。

(2) 遊ぶ場所の使用状況等の観点から伺う。

- ① 使用状況の把握はしているのか。
- ② 設備等の管理はどのようになっているのか。
- ③ 料金を徴収しているのか。

(3) 学校教育の観点から伺う。

- ① 学校施設の放課後・休日等の使用について、どのように考えているのか。
- ② 部活動等の自主練習について、どのように考えているのか。

2. 「子ども・子育て支援新制度」について

本年度より子ども・子育て支援新制度が導入されたが、全国的には「育休退園」等の問題点が出て来ているが、新制度導入によって悪い影響が出る子供がいてはいけない。

島田市において何か問題点があるのであれば、国・県の対応では時間がかかるので、独自に早急に対処しなければならないと思い以下質問する。

(1) 子ども・子育て支援新制度の導入後の状況と課題について

- ① 現在の状況と課題はどうか。
- ② 育休退園の状況はどのようになっているのか。
- ③ 保育標準時間と保育短時間の差でトラブルはないか。